

登録コード	L1234000	開講年度	2026				
担当教員	濱崎 友絵			副担当			
授業科目	芸術コミュニケーション特論						
英文授業名	Art Communication: Lecture with Workshop						
授業タイトル							
単位数	2	対象学生		講義期間	前期	曜日・時限	水曜・4時限
講義室	人文311実習室		遠隔授業科目		読替科目		
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2022Lカリ, 2021Lカリ						
	【2022年度以前加わらぬ対象】異質・多様なものを理解し、寛容かつ多角的に判断することができる受容力				異質・多様なものを理解し、寛容かつ多角的に判断することができるようになる。		
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降加わらぬ対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】				異質・多様なものを理解し、寛容かつ多角的に判断することができるようになる。		
	【2023年度以降加わらぬ対象】専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身についている。【開拓力・企画発想能力】				専門的学力を基盤とし、多様な文化や社会を理解するための力を身につけることができるようになる。		
授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	音楽を作り上げていくプロセスを感得する授業となる。取り上げる楽曲は、受講生と相談の上、ミュージカルとオペラのアンサンブルを中心に取り上げるものとする。なお授業の性質上、受講生は、芸術コミュニケーション概論を受講しているか西洋音楽の基礎理論を習得済みであることが望ましい。						
授業計画	1. ガイダンス 2. 歌唱の基礎 3. 映像鑑賞 4. 映像解説 5. ミュージカルを歌うー読譜 6. ミュージカルを歌うーパート練習 7. ミュージカルを歌うー楽曲分析 8. ミュージカルを歌うーアンサンブルを作る 9. オペラ史を学ぶ 10. オペラを歌うー読譜 11. オペラを歌うーパート練習 12. オペラを歌うー楽曲分析 13. ゲスト招聘 14. オペラを歌うーアンサンブルを作る 15. 発表、授業アンケート 進捗状況、受講者の希望により、内容に多少の変更が生じる場合がある。						
成績評価の方法	実技50%、レポート50%の比率で総合的に評価をする。						
成績評価の基準	授業で提示される課題ができれば「水準にある」、応用課題が解ければ「やや上にある」、自分なりの表現を提示できれば「かなり上にある」、独創的な解釈および表現ができれば「卓越している」						
事前事後学習の内容	楽譜を配布するので、予習復習（譜読み等）が必須となる。 DVDなどで映像を積極的に鑑賞すること。						
履修上の注意	週末など授業時間外の作業や舞台鑑賞が求められる場合がある。 また伴奏ピアニストも歓迎したい。 「学修の補充の対象とする事由」に該当する場合であっても、4回以上対面授業に出席できない場合は、授業の達成目標に到達に至る教育の質を担保することができないため単位認定はできないので留意されたい。 履修希望学生が多い場合は抽選（ないし選考）をする場合がある。						
質問、相談への対応	メールないし来室も可。オフィスアワーは火曜日の12:40～13:20（新棟305）。事前に来室希望日時をメールで連絡してください。メールアドレス：t-hamazaki@shinshu-u.ac.jp						
教科書	とくになし。						
参考書	授業中に指示する。						